

# 進路だより

令和6年11月8日発行  
第5号  
北海道高等聾学校進路指導部

## ～1, 2学年社会見学～

まだ暑さの残る9月25日(水)に、1学年、2学年は学年毎に分かれて社会見学に行ってきました。今年度は、進学希望者の増加そして生徒の見聞を拓げるために大学への見学も実施し、さらに2学年は北海道聴覚障がい者情報センターも訪れました。

### 2学年

2学年は、午前に進学グループと就労グループに分かれ、午後に合流して北海道聴覚障がい者情報センターを見学する日程で実施しました。

進学グループは北星学園大学を見学させていただきました。キャンパスや実際の講義を見学し、学食で昼食をとりました。生徒達は、担当者の大学生活についてのお話を熱心に聞き、真剣に質問していました。大学の雰囲気に触れ、大学生活に対し具体的に考える良い機会となりました。

就労グループはほくでんアソシエとほほえみカフェを見学させていただきました。ほくでんアソシエでは約半数が従事する障がい者への施設・設備の工夫を、また本校卒業生が多く従事しているほほえみカフェではコミュニケーションのやりとりの具体を見学しました。昼食をとりながら卒業生との質疑応答などの時間もあり、交流を深めることができました。

午後の情報センターでは、昨今の公共機関における情報保障のサービスやシステムに触れ、情報センターで担う役割の重要性を実感していました。

実施後の生徒の振り返りでは「学んだことが豊富であった」などという声もあり、充実した一日となりました。

<文責 橋田>



←北星学園大学

北海道聴覚障がい者情報センター→



## 1 学年

9月25日水曜日、午前中は岩見沢市の「社会福祉法人クピド・フェア」、午後は江別市の「札幌学院大学」にて施設見学を行いました。

クピド・フェアでは、就労継続支援事業所の就労現場を見学し、利用者の皆さんが製品を製造されている様子を見ることができました。また、入所されている方に合わせた、施設内に生活と密着した設備（簡易郵便局や売店など）があることは非常に驚いている生徒が多かったです。最後は、実際に働いている本校の卒業生が生徒からの質問に答えてくださる場面もありました。その方は諸部門の中でもかなり高度な技術を要する部門で勤務されていることもあり、製品について詳細な説明をしてくださりました。生活面について質問する生徒もいて、就労継続支援事業所とはどのような場所なのかについて、見識を深められたと感じています。

次に、札幌学院大学の見学では教室やミーティングルーム、図書館などを見学してきました。2021年から新札幌に開設された新校舎では、新しい施設や敷地だけでなく、大学生が実際に学習している様子を見ることができ、大きな刺激になったようです。札幌学院大学は道内でも情報保障等が進んでいるという特徴のある大学です。進学希望者にとっては大学の雰囲気を感じるだけでなく、合理的配慮の観点からも参考になったと感じています。

生徒の皆さんには、今回の経験を自身の進路活動、進路選択の一助とすることができるよう、残りの進路学習もしっかり取り組んでほしいと思います。

<文責 菊池>

